2026 年 11 月 4 日

各　位

会 社 名　株式会社ショーケース
代表者名　代表取締役社長　松本　高一
（コード番号：3909 東証スタンダード）
問合せ先　経営企画部部長
清水　幸雄
（TEL 03-6866-8555）

次世代デジタルウォレット「ProTech Wallet」の正式提供に向けて準備を推進

～本人確認結果を利用者のスマートフォンで管理、情報漏えいリスクの低減を目指す～

企業と顧客をつなぐ DX クラウドサービスを展開する株式会社ショーケース（東京都港区、代表取締役社長：松本 高一、証券コード：3909、以下ショーケース）は、マイナンバーカードとブロックチェーン技術を活用した次世代デジタルウォレット「ProTech Wallet（プロテック ウォレット）」の正式提供に向け、サービスの提供準備を進めております。

「ProTech Wallet」は、本人確認の結果をデジタル証明書として利用者自身のスマートフォンで管理し、対応するサービスには必要な情報だけを提示する仕組みです。本人確認手続きの効率化に加え、事業者が保有・蓄積する個人情報を必要最小限に抑えることで、情報漏えいリスクの低減を目指します。



■ 背景

オンラインサービスの本人確認では、氏名・住所・本人確認書類の画像・顔写真など、漏えいした場合になりすましや不正利用につながる重要な個人情報を扱います。昨今、個人情報漏えいが相次ぐなか、事業者が情報を集約・保管する従来の仕組みには、情報漏えい時に被害が拡大するリスクがあります。

こうした状況を受け、2026 年 10 月 9 日には金融庁が金融機関等に対し、本人確認書類の画像送信方式から IC チップ読み取り方式などへの速やかな移行を要請しました。本人確認の安全性を高めるとともに、個人情報を必要以上に保有・蓄積しない仕組みづくりが求められています。

当社は本人確認の結果を「デジタル証明書」として利用者自身のスマートフォンで管理し、事業者には必要な情報だけを提示する「ProTech Wallet」を開発しました。2026 年 5 月には実証実験を完了し、このたび正式提供開始に向けた準備を進めています。

「ProTech Wallet」を通じて、本人確認の効率化に加え、事業者が保有・蓄積する個人情報を最小限に抑えることで、情報漏えいリスクの低減を目指します。

※プレスリリース：ショーケース、マイナンバーカード×ブロックチェーンを活用した次世代デジタルウォレット「ProTech Wallet（仮称）」の実証実験を完了 - 株式会社ショーケース （2026 年 5 月 21 日配信）：
https://www.showcase-tv.com/pressrelease/20260521_protechwallet/





■ 期待される効果

【利用者】

利用シーンに応じて必要な情報のみを開示できます。 例えば、酒類購入時に「氏名や住所」を開示せず、「18 歳以上であること」のみを証明することができます。これにより、プライバシー保護と利便性を両立します。

【事業者】

事業者が保管・管理する個人情報を減らすことで、情報漏えいが発生した際の被害や調査・対応にかかるコストの抑制につながります。また、法令改正に伴う本人確認方式への移行も、既存サービスや業務フローを活かしながら進めることが可能です。

	これまで	ProTech Wallet
個人情報と書類画像の保管場所	本人確認事業者と利用先企業のサーバー	**利用者自身のスマートフォンへ再生可能なデジタル証明書（VC）として格納（暗号化し、生体認証で保護）**
利用先企業が受け取る情報	氏名・住所・書類画像など全項目	**「本人と一致」「18 歳以上」など、取引に必要な結果に限定**
利用者の手間	サービスごとに毎回カード読み取り・撮影	**2 回目以降はスマートフォンからの提示に限定 ユーザーの操作を「1 タップ」まで簡略化 できる**

■ 今後の予定

今後は、金融機関、通信事業者、エンターテインメント業界、地方自治体など、幅広い分野での活用に向けて、サービス間の連携やユースケースの拡大を推進してまいります。利用者の利便性向上と事業者の業務効率化に貢献するとともに、なりすましなどの不正利用を防ぎ、誰もが安心してデジタルサービスを利用できる安全な社会の実現を目指します。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ショーケース　IR 担当

TEL：03-5575-5102

Mail：ir@showcase-tv.com